

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、今年、国定公園指定60周年を迎える西日本最高峰の石鎚山をはじめ、世界でも有数の多島美を誇る瀬戸内海、変化に富んだリアス式海岸の宇和海など、豊かで美しい自然に恵まれております。

この本県のすばらしい自然環境を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことが、私たちに課せられた極めて重要な責務です。

県におきましては、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」に基づき、「やさしい^{えがお}愛顔」があふれる愛媛を目指し、「環境と調和した暮らしづくり」、「自然と共生する社会の実現」、「環境にやさしい産業の育成」を主要政策に掲げ、かけがえのない環境を守るため、さまざまな施策を積極的に展開しております。

とりわけ、昨年は、県内の絶滅のおそれがある野生生物の保護と、生物多様性の保全を図っていく上で重要な役割を担う「愛媛県レッドデータブック」の改訂や、かねてから排泄物の処理方法に課題があった石鎚山への環境配慮型トイレ等の整備などを行ったところです。

今後とも、こうした取り組みを推進し、貴重な財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様方の一層のお力添えをお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、多くの方々の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境保全に向けた活動の更なる促進につながりますことを御期待申し上げます。

平成27年3月

愛媛県知事 中村時広